

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年2月7日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4678700081
法人名	社会福祉法人 陵風会
事業所名	グループホーム わせ
所在地	鹿児島県奄美市住用町大字和瀬字里136番地2 (電話) 0997-56-2088
自己評価作成日	平成27年1月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年1月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

(1)認知症高齢者が安心して暮らすため、また入居者の認知症の進行が穏やかになるような支援に力を入れていきたい。そのために個々のスタッフが自己研鑽に励むとともに、研修、教育環境も充実させていきたい。

(2)地域に密着した施設として、地元の皆様とともに様々な行事などを通して交流を深めていきたい。また、災害時の地域拠点としても積極的に活用してもらえるよう、訓練なども共同で開催していきたい。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 事業所は地域に密着した施設で地域の一員としての交流が図られており、行事の参加や各団体の協力が貰え、畑や花壇など事業所の整備を手助けもらったり、台風時期の事業所の駐車場を地域住民の利用などもあり、地域と密な関係が図れている。

- 運営推進会議で委員の意見や情報などを事業に反映し、停電時の発電機を取り付けたり、災害に備えての3ヶ月ごとの自主訓練を行う等、被災にあったことが教訓になり、地域の防災の拠点としての役割を担っている。

- 町担当者に事業所の実情や相談などを行い、担当職員から資料や情報などを得る等、協力体制ができている。

- 島独自のおやつと一緒に作ったり、定期的に食堂やレストランで食事をするなど、食事を楽しむ支援ができている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「自由に」「ゆっくりと」「その人らしく」の理念を掲げ、地域においては、こちら側から積極的に向き合いでコミュニケーションを広げる努力をしている	理念に掲げている一日一日を好きなように、思うようにゆっくりと過ごしていただくよう取り組んでいる。管理者と職員はミーティングで理念について話し合い共有している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らしつづけられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	天気の良い日には、近隣の散歩などを行い、道で会う方達とあいさつなどを交わし過ごしている	事業所は毎日の集落内の散歩や豊年祭などの行事の参加や婦人会のボランティアの受入れ等の交流をしている。台風時など事業所の駐車場を提供するなど地域の一員として日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議などで、認知症についての理解を深めるとともに、ボランティアなどを積極的に受け入れている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	偶数月の第4金曜日に会議を実施し、行政や地域の方々の意見を取り入れ運営に役立てている	会議は定期的に行われている。委員の情報や意見で、老人クラブや婦人会・青年クラブなどの協力をもらい、ホームの畑の地ならしや野菜の植え付け・収穫等ができる、台風時の発電機取り付けなど運営に反映できている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	サービスや疑問点などについては、随時照会しながら連携を取っている	認知症キャラバン隊などで役場の職員とは協力関係にある。事業所や利用者の課題なども相談している。認定の更新結果や情報など事業所に届けられるなど担当職員とは連携が図られている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に関する勉強会などを実施し、禁止対象となる行為の確認などを行っている	身体拘束に関する研修は新人研修で行っている。ケアを通して気になる場合は職員会議で検討して指定基準の禁止の行為は常に確認している。布団に鈴をつけるなどの転倒予防など工夫している。夜間のみ玄関の施錠は行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	身体拘束と同様に、勉強会などを実施し、虐待などが起きないよう注意を払っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度の事案はありませんが、定期的な勉強会などで、理解を深めていきたい			
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	管理者が中心となって、契約に関する事項、重要事項を丁寧に説明し、理解、納得を得るよう努めている			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会訪問時や、意見箱などで意見や要望を集約している。また法人のグループで年に一度、職員、入居者、家族向けアンケート調査を実施し運営に反映させている	爪が伸びている事や水虫の消毒の事など、利用者の家族からの意見をきっかけに、職員は常に利用者を見守るようにしている。利用者や家族は気軽に要望を出して運営に反映させていく。		
11 7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月、ミーティングを実施し要望、提案事項などを集約し運営に反映させている	ヒヤリハットの改善策などミーティングで話し合い、利用者の部屋替えや座る場所など、職員の提案が運営に反映できている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	個別に面談等を実施し、課題や目標などについて確認し、向上心を持って働くよう配慮している			
13	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	OJTを通して、気が付いたらその場で指導、助言などを行うとともに、行政や社協などが主催する研修への参加を促している			
14	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人グループ内のグループホーム同士の交流や、グループホーム協会などが主催する交流会、研修会を通して同業者のネットワークづくりをし、サービスに役立てる活動を行っている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントをしっかりと行い、介護サービスの基本である、「受容」「傾聴」「共感」を軸に、信頼関係を築く支援に努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会訪問時などに、最近の様子をお伝えしたり、ご家族の要望などをこまめに聞きながら関係づくりに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	施設サービス計画書作成時に、アセスメントをしっかりと行い、その人の持つ残存機能を活かした支援を心がけている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご自分で出来ることは、ご自分で極力できるように、常に励ましながら支援を行い、お互いに信頼関係を築く努力をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族とは、随時話し合いをしながら、ご本人にあったサービスの提供を模索し、ご家族が支援できる部分は協力をお願している			
20 8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の生活歴などを把握し、今まで築いてきた関係性が途切れないよう、馴染みのお店や理髪店などを継続利用するなど配慮している	利用者希望の馴染みの理・美容室に連れて行ったり、出身地に連れて行って馴染みの友人や知人との再会を楽しめるように支援している。親族に電話したいと望まれる利用者には家族の了解を得て取り次ぐ等の支援も行っている。		
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の相性などを考慮し、座席配置や共同作業などの組み合わせなどに気を配っている			
22	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	定期的にお便りや、電話等で様子を伺ったりして関係性が途切れない様に配慮している			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	出来る限りご本人の意向を中止人に計画書を作成し、短期→長期目標を定めるように努めている	個人の支援経過のノートに詳細を記録している。言いたい事を気軽に言える関係作りを行っている。困難な時は家族に聞き取りや確認を行い本人中心に検討している。	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	職員に部屋担当を持たせ、その人の生活歴を把握し、出来る限り生活の継続性を重視した支援を心がけている		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	個々の体調や精神状態など、変化がある場合は情報収集に努め、職員で共有し記録に残すよう努めている		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	毎月1回の個別カンファレンスで、ご家族の意向、課題、目標などを話し合い計画へ反映させている	モニタリングは3ヶ月に1回行っている。プランを作る前に居室担当職員が毎月家族に希望などを聞いて計画書に載せている。利用者からも訴えがあるので計画書に入れ込み反映させていく。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録へ気づいた点を中心に積極的に記録し、職員間で情報共有できるよう心がけている			
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通り一編の支援ではなく、その時の状況に応じ、出来るだけ臨機応変に対応ができるよう心がけている			
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	小さな集落に立地しているので、こちら側から出向いて行き、集落主催の行事に参加しながら心豊かな暮らしができるよう配慮している			
30 11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期受診を軸に、かかりつけ医としっかりと連携し、既往症などが悪化しないよう配慮している	利用者や家族の希望するかかりつけ医での受診を支援している。情報をもらって既往症がある利用者には主治医との連携を密に取り合っている。薬が変わったりした時は家族に報告している。緊急の時は家族に連絡して病院で待ち合わせて一緒に付き添う等、適切な医療が受けられるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>看護職員は、口吊りや便器の介助といった情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	看護職は配置していないため、かかりつけ医と連携し、病気の早期発見、早期受診で重篤化しないよう配慮している		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院が発生した場合、ご家族や医療機関と連絡を密にとりながら、スムーズな治療と治療後に安心して戻れるよう医療機関とも連携が取れている		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいく</p>	終末期の支援は実施していませんが、ご家族の要望があれば、事業所でできる範囲などの説明をしっかりと行い、かかりつけ医とご家族と相談し、協力を得ながら実施していきたいと考えています	重度化や終末期のあり方については、利用者が身体的に重度になった時に自力で食事が摂れて自力で訴えができるまでは事業所で対応できる事などを、入居契約の早い段階で説明を行っている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けています</p>	本年度意識低下の事案があり、管理者が対応しましたが、他の職員も実践できるよう的確な訓練を実施していきたいと考えています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防立会いの、消防避難訓練を中心に、地震、水害、台風、津波なども想定した訓練などの実施を検討している	火災訓練は3ヶ月に1回夜間想定の訓練を行い、避難誘導も訓練回数を増すごとに時間短縮できている。津波に備えての訓練も予定している。台風時の発電機も取り付けている。奄美市の合同災害避難訓練に合わせて災害訓練を行っている。災害時の備蓄としてラーメンやパン・水・電燈・電池類等を準備している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	入居者のお一人お一人に対し、常に丁寧な温かい言葉かけを心がけている	ミーティングで利用者のプライドを損ねない声かけや利用者の近くに行って小声で声かけをする等の配慮のある対応を行うようしている。適切でない対応をしている職員には、気づいた時にすぐ注意するようにしている。事業所では年に1~2回関連施設でのプライバシー保護についての研修に参加している。	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	ご本人が、やりたいことができるよう「傾聴」の姿勢で支援するよう心がけている		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	ご本人の意思を尊重し、できる限りご希望に添った支援ができるよう心がけている		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	ご本人が好きな洋服や、身だしなみなど、ご本人にできるだけ決めていただくよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食器洗いや食器拭きができる入居者には、職員と一緒に片づけができるよう配慮している	個々の力量に応じて、食器洗いやテーブル拭き等を職員と一緒にしている。年に4~5回食堂やホテルのレストランで外食する楽しみ等も支援している。ドーナツやヨモギ餅を作つて楽しんでいる。花見等に弁当やうどん・出汁を用意して現地で食べる等の支援もしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分量など、一人ひとり注意しながら観察し、毎日安心して食事などが楽しめるよう支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯磨きや口腔ケアに個人差はあるものの、ご本人が出来ている部分が低下しないよう支援している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の失敗などがあってもとがめずに、励ましながら何度も挑戦できるよう個人に合わせて支援している	利用者の殆どはリハビリパンツや布パンツを使用している。個々の排泄パターンで日中は声かけを行い、それぞれで排泄を行っている。夜間時は熟睡している利用者以外の利用者は声かけしてトイレ誘導をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便のコントロールについては、職員間で状況をしっかりと把握し、食事、運動、下剤の与薬や医師の指導などで予防、工夫している			
45 17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまはずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は、ご本人が入りたいタイミングを優先し、決して強制せず支援している	入浴は本人の希望する日に実施し、入浴を拒否する利用者には週2回は入れるようにタイミングに合わせ行っている。月曜日に病院受診の利用者は日曜に入浴を行っている。好みのシャンプーや石鹼を使用するなど個々に合わせた支援を行っている。		
46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	朝の起床時間やお昼寝の時間などは、個人のペースに合わせ、声かけを行い、気持ちよく休む事ができるよう支援している			
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	既往症と薬剤の関係を職員がしっかりと把握し、飲み忘れなどが発生しないよう、毎日確実に服薬の支援を行っている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	周辺へのドライブやカラオケ、散歩などでいつでも気分転換ができるよう配慮している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日には、近隣への散歩を実施していますが、時には遠方へ外出したり、地域行事へ参加したりして、閉じこもりがちにならないよう配慮している	日常的には事業所の畠を見に行ったり、集落内の散歩をしたり、ベランダに出て戸外の空気や日光浴を楽しんだりしている。2ヶ月毎に遠出をしている。桜の花見に出かける計画もある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物でご本人が欲しいもの、食べたいものなどを買いに行ったりして満足していただけるよう支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	定期的に自宅等へ電話をかけたり、手紙などが届いたときは、職員も一緒になって喜ぶなどの配慮をしています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日、リビングや居室の清掃を行い清潔保持に努めるとともに、空調なども調節しながら快適に過ごせるよう配慮している	フロア内は明るく正面の台所から一同に見渡せ、各自の居場所で好きなことをしてくつろいでいる。目の前の海や山の風景が眺められ、壁には行事の写真や手作りの作品が飾ってあり、居心地よく生活できている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いで過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う入居者同士の関係性を把握し、座席の配置なども工夫しながら、思い思いで過ごせるよう配慮している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使用していたもの（タンス、小物）ができるだけ持ってきていただき、居心地の良い環境になるよう配慮している	居室は自宅で使用していたタンスやテレビ・仏壇を持ってきて、花を飾り壁には家族や友人の写真を眺め、それぞれの個性に合わせた部屋で居心地よくくつろいでいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの場所に大きな張り紙をしたり、居室には表札をして分かりやすいよう工夫している		

V アウトカム項目

		<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られて いる。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

		<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	2 家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/>	3 家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/>	4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
			2 少しづつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない